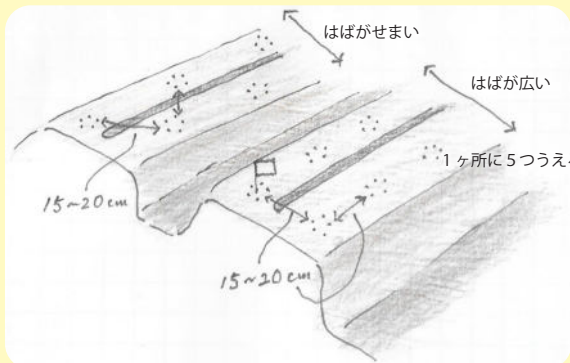


種植えのポイントは、ちゃんと芽がでる植え方となるべく多く大根を収穫できるよう工夫すること、その2点です。

下の2つの畝（うね）では、種（たね）のうえ方がちがいます。どこが、なぜ違いますか？



● ちゃんと芽が出るために

- ① 種をなぜ5つ植えますか？
- ② 種を植える穴の深さは？
- ③ 水はあげましたか？

● 大根を多く収穫するために

- ① 植える場所の間隔は？
- ② 予備の種はなぜ植えるの？

● 畝は何のためにあるの？

- ① 水はけがよくなります。
 - ② 大根の根が伸びやすい。
 - ③ 栽培作業がしやすくなります。
- その他にもあるかな？

水をやると種の中の芽が目（め）をさします。

水は太陽の光（ひかり）によって栄養（えいよう）に変わ（かわ）ります。



ところで、水をあげてよい時と減（へ）らしてもよい時があるのは本当（ほんとう）ですか？

● 水やりのポイント

気温（きおん）が高い9月ころは、たっぷり水（みず）をあげます。大根（だいこん）が大きくなってきたら水（みず）をあげる回（かい）数を減（へ）らすと美味（おい）しい大根（だいこん）ができます。なぜでしょう？調べてみて！

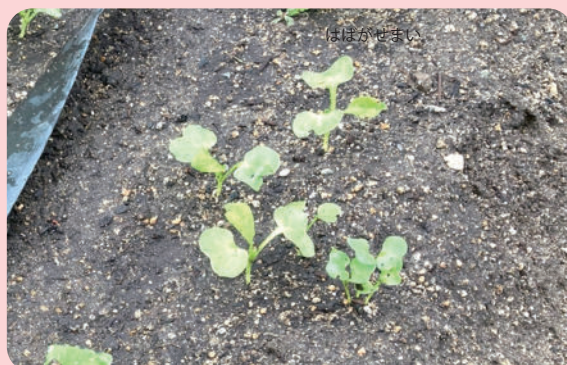
● いつ水やりをしますか？

- ① 雨（あめ）の日（ひ）もあげる
- ② 土（つち）が乾（かわ）いたらあげる
- ③ 気温（きおん）が高いお昼（ひる）過ぎ（すぎ）にあげる
- ④ 朝（あさ）の涼（すず）しいうちにあげる



芽（め）が出（で）なかつた場所に「追い種（たね）まき」を行（い）います。植（う）え方は、もう一度（いちど）「種（たね）まき」のカードを見（み）直（なお）しましょう。

右下（みぎした）の白（しろ）の破（は）線（せん）の丸（まる）の中（なか）は、追（お）い種（たね）をして一週（いっしゅう）間（かん）遅（おそ）れて発（は）芽（め）した双（ふた）葉（は）です。



● どこに植えましょう？

- ① 最初に植（う）えた5カ所（ごかしよ）のうち、芽（め）でなかつた場所（ばしよ）。
- ② 畝（うね）の中（なか）で芽（め）がでていない、空（あ）いてる場所（ばしよ）に植（う）えて、予（よ）備（び）の大根（だいこん）を育（そだ）てましよう。

● 調べてみよう。

野菜（やさい）の種（たね）はま（ま）く時期（じき）（季節（きせつ））が決（き）ま（ま）つていま（いま）す。秋（あき）に種（たね）をま（ま）く大根（だいこん）などは、発（は）芽（め）が1日（いち）遅（おそ）れると収（しゅう）穫（かく）が1週（いっしゅう）間（かん）遅（おそ）れると言（い）わ（わ）れていま（いま）す。それ（それ）は、なぜ（なぜ）でしょう（しょう）か？

● 双葉と本葉

双（ふた）葉（は）と、双（ふた）葉（は）の次（つぎ）に出（で）てくる本（ほん）葉（は）は形（かたち）がど（ど）のように違（ちが）うか観（くわん）察（さつ）してみ（み）よう。双（ふた）葉（は）は役（やく）割（わり）を終（お）え（え）ると自（じ）然（ぜん）に枯（か）れてしま（しま）いま（いま）す。それ（それ）ま（ま）で大（だい）切（せつ）にしま（しま）し（し）よう（よう）。

● 調べてみよう？

大根（だいこん）の双（ふた）葉（は）は（は）お野（や）菜（さい）とし（し）てお（お）店（みせ）でも売（う）つていま（いま）す。「か（か）い（わ）れ大根（だいこん）」とよ（よ）ば（ば）れていま（いま）す（す）が、な（な）ぜ（ぜ）？

